

美ら海 壊すな 土砂で埋めるな

5.26

国会包囲行動

止めよう!
辺野古新基地建設
止めよう!
9条改憲

とき：2018年

5月26日（土）

14:00～15:30

* 13:30から音楽イベント

ところ：国会周辺

（4つのエリアでリレートーク）



辺野古・大浦湾のサンゴ群

共催：基地の県内移設に反対する県民会議 098-833-3218

「止めよう！辺野古埋立て」国会包囲実行委員会 <http://humanchain.tobihiro.jp>

沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック 090-3910-4140 沖縄意見広告運動 03-6382-6537 ビースポート 03-3363-7561

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会 <http://sogakari.com>

戦争をさせない1000人委員会 03-3526-2920 憲法9条を壊すな！実行委員会 03-3221-4668

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いがす共同センター 03-5842-5611



埋め立て予定地の海底は軟弱地盤で、活断層の存在も明らかになりました。
 (辺野古崎右側の実線で護岸工事が進められています)

〈よびかけ〉

日本政府は、県民の民意を踏みにじり、県の許可を得ないで、違法な護岸工事を強行しています。6月には辺野古側の浅瀬の海を護岸で囲い込み、土砂を投入する方針だと報道されています。土砂が投入されれば、美しい辺野古の海は取り返しがつかなくなります。絶対に止めなければなりません。

工事強行の狙いは、「もう基地建設はとめられない」と県民に諦めさせ、11月の県知事選挙で辺野古新基地建設に反対している翁長知事を追い落とすことです。

本土のマスコミは「基地建設工事が本格化」と報道していますが、県民の闘いで工事は大きく遅れています。さらに埋め立て予定地の海底が超軟弱地盤で工事が困難なことや、活断層の存在が明らかになりました。基地建設の場所としての適性が根底から揺らいでいます。政府こそ窮地に追い込まれているのです。

県民が闘いを強化し、翁長知事が毅然と工事に関する権限を行使し、全国の人びとが立ち上がれば基地建設を止めることができます。

沖縄県民の闘いは、日米安保が憲法の上に君臨する現状に対し、憲法が保障する平和的生存権などを勝ち取る闘いです。辺野古新基地建設を許さない闘いと憲法9条改悪を許さない闘いを結び付け、沖縄と全国の力を一つにして、辺野古新基地建設を許さない声を大きなうねりにしていきましょう。

5.26国会包囲行動に多くの皆さんの参加をよびかけます。

当日のスピーカー

高里 鈴代さん (オール沖縄会議共同代表)
 安次富 浩さん (ヘリ基地反対協議会共同代表)
 大城 悟さん (沖縄平和運動センター事務局長)
 瀬長 和男さん (沖縄県統一連事務局長)
 (4カ所のステージを分担して回ります)
 立憲野党代表、ほか

自前の
 プラカード
 大歓迎!